

フィジー共和国から来ました。
From the Republic of Fiji



①ジョアベさん(右)、セコナイアさん(左)。ラグビーの話をする2人の目は輝いています。②6月9日に行われたイタリア代表選手によるラグビークリニック。③全九州高等学校ラグビーフットボール競技大会の様子。④ボールを持つ姿がよく似合うジョアベさんとセコナイアさん。



フィジーで最も人気のあるスポーツはラグビー。ボールがなくても、ペットボトルやコナツツの実でラグビー遊びをしまっとうほど、子どもたちもラグビーが大好き。だから、「フライングファイジアンズ」の愛称で親しまれるフィジー代表は、子どもたちの憧れであり、国の英雄です。そんなフィジー代表の

大分東明高校に通うセコナイアさんとジョアベさんは、ラグビー部に所属する留学生。3月に、フィジー共和国から大分市にやってきました。オーストラリアの東側に位置するフィジーは、300以上の島々からなる群島国家。冬でも最低気温が20度前後の気候のため、初めは大分市の気温の低さに驚いてしまったのだとか。しかし2人はそんな環境の変化も前向きに楽しみ、「とってもフレンドリー」というラグビー部の仲間と一緒の寮生活や、大分でのラグビーを満喫しています。

愛するラグビーが
僕らと大分をつなげた

ラグビーワールドカップ事前合宿が大分市に決まり、2人は「So exciting!」(とってもワクワクします)と、本当に嬉しくてしょうがない様子。試合では、タックルをされても倒れる前にボールをパスする「オフロードパス」を効果的に使い、ボールを落とさずつなげるラグビーの戦術にも注目して見てほしいとのこと。ジョアベさんはその戦術を「落ちないからボールが汚れない。いつもきれいな黄金のボールだよ」と自慢する。セコナイアさんも「ラグビーはグッドスポーツ。僕たちも、ラグビーがなかったら大分に来ることもなかった。ラグビーがフィジーと日本をつなげてくれたし、世界中をつなげてくれる」と、ラグビーの魅力を語る瞳はキラキラと輝いています。2人の所属する東明高校ラグビー部の活躍はもちろん、ラグビーワールドカップでのフィジー代表の戦いにも注目しましょう。

フィジー共和国
Sekonaia Bulu
セコナイア・ブルさん (16)
Joape Naco
ジョアペ・ナゾさん (16)
大分東明高校1年生

イギリスから来ました。
From the U.K.



①海や自然が大好きなケイティさん。とにかく活動的! ②みんなで参加する府内戦紙は楽しい思い出。③歌が好きなケイティさんは、おおいた夢色音楽祭にも参加。④英語のみで行われる授業風景。かわいい子どもたちに英語を教えているケイティさん。

大分市に住んで9年
祭りに食べ物に自然に…
ここが大好き!

日本の音楽が好きで、日本語を学びたいと日本へ。赴任先だった大分市が気に入って、その後の9年間を大分市で過ごしているケイティさん。「大分ののんびりとした空気が私に合っているんだと思います。自然も豊かでリラックスできる場所。できればずっとここで暮らしたいくらいです」。現在、市内にあるプリスクールで、子どもたちに英語を教えています。「大分の子どもたちはみんな元気! みんなの成長を見るのがとても嬉しいです」と、仕事へのやりがいも話してくれました。

趣味はキャンプにカラオケ、スキューバダイビングと多彩。ダイビングのライセンスを取得し、佐賀関や田ノ浦の海にも潜ったことがあるそうです。さらに、ケイティさんの夏の恒例行事になっているのが、府内戦紙の踊り隊として祭りに参加すること。「今年で7回

イギリス
Katie Pask
ケイティ・パスクさん (30)
プリスクール
カリキュラムマネージャー